

辰野町議会第7回議会報告会の概要

実施期日 平成26年11月14日（金）午後6時30分から午後8時
実施場所 辰野町役場第6会議室
出席者 町民52名、議員14名、合計66名

司会進行 船木議会運営委員長

(1) 開会あいさつ 宮下副議長

(2) 主催者あいさつ 篠平議長

(3) 6月・9月定例会等活動報告

①総務産業常任委員会 定例会審議状況・活動報告

報告者 中谷委員長・堀内副委員長

②福祉教育常任委員会 定例会審議状況・活動報告

報告者 熊谷副委員長

③議員行政視察報告

報告者 成瀬議員

④「道路問題検討部会」中間活動報告

報告者 中谷部会長

⑤「災害時における議員活動規則等策定部会」活動中間報告

報告者 永原部会長

(4) 報告に関する質疑

【意見1】

国道153号線について、認識に誤りがある。リニア駅は飯田である。153号線の整備については、2027年の飯田駅開業にむけて国交省が提案していることではないか。25年5月には阿部知事、伊那市長、駒ヶ根市長、飯田市長が国に出向いて国の直轄事業地毛による整備を提案したが、国は否定的であった。

国の基本構想、基本計画、実施計画で流れていけば2027年にはできるのではないか。国の動向を把握して一つ一つ進めていっていない。住民の意見に基づいて進めていただきたい。2027年をとらえて、確認して進めてほしい。

■中谷委員長答弁

60%くらいは把握しているが、国、県との関係は簡単にはいかないのが現状。方向性を考えて町へ進言していきたい。

【意見2】

防災講演会について、参加者は広島の大震災の後でもあり意識が高かったと思う。片田教授の内容は良かったが参加者が会場の半分程度で残念であった。参加の呼びかけを工夫し、PTA、老人クラブ等の団体に呼び掛けたらよかったと思う。当日は防災訓練の日でもあったのでその時に指示をしても良かったのではないかな。

■永原議員答弁

ご意見のとおりであり、反省している。今後は各団体に対して町と協力して声をかけていきたい。

(5) 意見交換

テーマ「人口増対策について」

説明 宮下副議長

移住定住促進協議会経過報告

熊谷議員（第一部会）

垣内議員（第二部会）

【意見1】

2020年のオリンピックまでに町の人口は20,000人を割る。目標値をどこに置くのか。目標がない仕事はうまくいかない。

■篠平議長答弁

町は、現状維持を考えているのではないかな。2008年から減少に転じている。地方自治法上町は法人であり、つぶれることはない。

【意見2】

今年の9月1日現在では36人の増加となっているが原因はなにか。

■宮下副議長

議会としてはつかんでいない。宮木等の宅地造成地への新築などではないかな。辰野町は住環境が良いので、福祉面で優遇政策を進めたい。

【意見 3】

町の決算は黒字となった。町が健全に機能することが重要である。町の力で住民サービスにつなげる。自主財源を大きくして、住民サービスを充実させる方向を発信すべきである。そうしたことをとらえたうえで少子化対策を実施すべきである。小野における取り組みを参考にしてほしい。地域性を積み上げることが重要。それにより未来は開ける。

【意見 4】

小野のよりあい会議に参加している。小野は通勤には便利であり、地域の住民がどこまで満足しているのかとらえて、分析し、今後どうしたら満足できるのか考えることが重要。人を増やすことは難しい。定年退職した人なのか、若い人なのか細分化して具体化しておくことが重要である。ポイントを押さえてほしい。公表できる場を議会として設定してほしい。

■篠平議長答弁

住み心地の良い地域づくり、公共サービスや医療福祉、人と人とのつながり、文化などの充実が大切である。そうすれば若者が地方に戻ってくる。行政だけではできない。地域、議会、行政が一緒になる方向が大事。ふやさなくても、減らさない対策が重要である。

【意見 5】

人口を増やすには住みやすくなければならない。それには、買物の場所が重要であるが、三丁目の駐車場は空いているが、あそこにコンビニができればいいと思う。

どのように進めればよいかわからないが検討していただきたい。

■船木委員長

議会としても取り組んでいきたい。

(6) 閉会あいさつ

宮下副議長